

「NPO法人ほっとねっと」の紹介

先日の文化祭では「ひだま里カフェ」にたくさんの方が来てくださり、ありがとうございました。今回は、一緒に「ひだま里カフェ」を運営して下さった”NPO法人ほっとねっと”について紹介したいと思います。



<設立趣旨>

「NPO法人ほっとねっと」は、道後湯月町にある精神障害のある人の共同住居の設置に関わった精神保健福祉関係者が中心となり、精神障害のある人の地域生活支援に関する事業を日常的に行う法人が必要だと考え平成15年9月3日に設立されました。

精神障害のある人が、自分自身の生き方を自己選択、自己決定しながら、あたり前に生活していくための拠点づくりや福祉サービスの充実を推進し、障害のある人の地域生活の支援を進めることで、精神障害のある人だけでなく、市民の障害のある人への理解を推進し、地域福祉の向上のために設立されました。



<活動目的>

障害のある人の社会参加の促進に関する実践活動を進めることで、障害のある人への理解を推進し、障害のある人の福祉を向上、発展させることを目的としています。



<事業内容>

1 指定就労継続支援事業（B型）

障害者総合支援法関係法令の理念に則り、利用者の方々の自立と社会経済活動への参加を促進するために、通所による就労や生産活動の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識や能力が高まった方々に対して、一般就労等への移行に向けて支援します。精神障がいのある方が地域で生活していく中で、仕事や仲間づくり、ほっとする場として様々な活動を行っています。



ひだま里



ひだま里では、主に配食弁当サービス（定価400円）やシフォンケーキの受注販売を北条地区で行っています。他にも軽作業として松山道後の水口酒造ビールラベルづくりがあります。

平成16年に精神障害のある方の“笑顔溢れる楽しい居場所”として北条の家族会エコーグループが立ち上げた「ひだま里」は、松山市の精神障害のある人の地域生活支援に関する事業を日常的に行う法人であるNPO法人ほっとねっとが平成17年10月、その“地域愛”のバトンを受け継ぎました。

ひだま里は、笑顔でほっとできる場、みんなで一生懸命働き、やりがいを感じる事ができる場となるよう活動しています。





すけっと工房



精神障害のある方が地域の中で生活していく中で、仕事やくつろげる場として日々いろいろな活動を行っています。所内での活動としては、タオルたたみや袋詰め、昼食づくり、木工、ゴキブリ駆除用のハウサンダンゴ作りです。外での活動としては、アパートの清掃、施設の清掃、引越、除草や剪定、農作業の手伝い、大工仕事、喫茶運営、売店の補助、一般廃棄物の収集運搬などを行っています。



ロ笛ベーカリー



「パンが好き」「パンに興味がある」という方のためのパンの作業として、パンの製造（計量・生地分割、成形、焼き作業）、店舗の準備や販売、店舗の軽作業などを行っています。

大切な人に安心してパンを食べてもらいたい！という思いでみんなでまちのパン屋さんをしています。「ロ笛ベーカリー」看板メニューのひとつ、リッチ食パンは、北海道産の小麦粉・バター・牛乳・サワクリームをたっぷり使用しています。他にも菓子パン・調理パン・野菜パンなど自慢の焼き立てパンを用意しています。



2 共同生活援助（グループホーム）

長期入院のために生活のしづらさを抱え、自宅や単身での生活が難しい方々が必要な支援を受けながら共同生活をしています。サービス管理責任者、世話人、生活支援員が身の回りの環境整備や食事の提供、相談など必要な生活支援を行ないます。松山市内で現在9カ所のグループホーム、ねっとハウス「くろーばー」を運営しています。



3 ヘルパーステーション「ほっとパートナー」

精神障がいの方を主たる対象者とし、買物・家事・通院などを共に行い、地域の中で安心して生活する事が出来るよう力添えさせていただいています。

4 相談支援事業所 ほっとねっと

精神に障がいのある方やご家族などの相談を受ける事業所です。



5 共同生活支援事業（共同住居）

共同住居は、ケアホームからでたいけど自信がない方や、退院していきなり一人暮らしは不安、という方への支援として行っています。



6 ピア人材バンク

「ピア人材バンク」は、障がいのある方自らが事業の主体となって、同じ障がいのある方に対し当たり前に地域で自立した生活を営むために必要な事業や支援を行っていくことを目指した活動です。



担当：2年次4組、1年次1組

次回の放送は、12月9日です。お楽しみに…